

令和6年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立内中原小学校

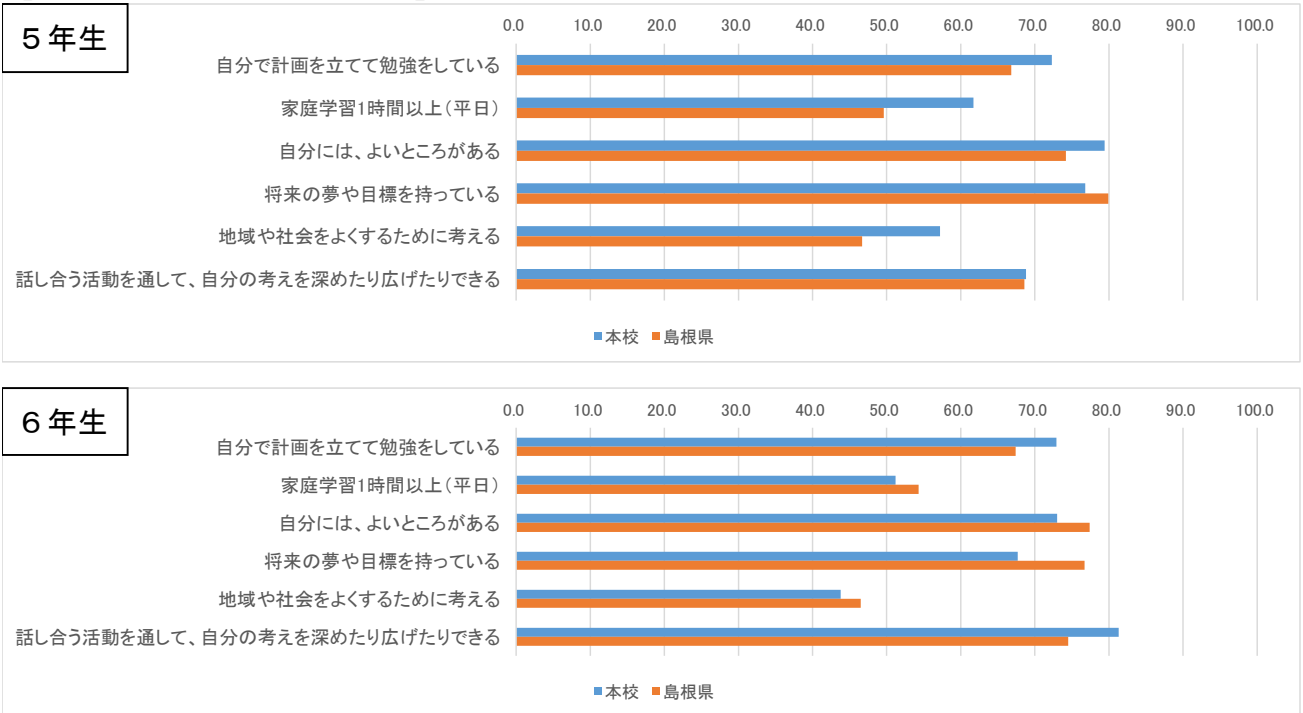
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
国語	○叙述を基に読み取ることはできつつある。 ○漢字の読み書きは定着している。→自分で計画を立てて学習する、毎月の書き取り会の成果 ●内容把握に時間がかかる→最後の大問（作文問題）の無回答率が高い	○接続語や敬語など、語句の使い方については、正しく理解し活用することができる。 ○目的や意図に応じて、情報と情報をつなげて書くことができる。 ●物語文の選択問題について、問題文の意図を読み取ったり、選択肢のちがいを読み取り、正しい答えを見つけるのに難しさが見られた。
算数	○記述問題に対して文章で説明しようとしている。 ○小数や分数の基本的な計算力はだいたい身に付いている。 ●文章から図や数直線を描く力がない。	○xやyを使って2つの数量の関係を表したり、一方の文字の値から、他方の文字の値を求めることができる。 ○拡大・縮小の意味を理解し、実際の長さを計算して求めることができる。 ●分数の比の問題で、最小公倍数をかけて整数の比にする操作について理解できていない児童が多い。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
意識	○家庭学習の時間は1時間以上取れている子が多い。 ○自分で計画立てて学習する力を付けつつある。 ●基本的な生活習慣が乱れている項目が見られる。（睡眠時間・メディア利用時間）	○自分で学習の計画を立て、集中して学習している児童が多い。 ○話し合い活動を通して学習を深めたり広げたりすることが好きな児童が多い。 ●家で、遊びやテレビの時間を決めて過ごしている児童が少ない。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R6学力調査受検者数】

5年生

112

名

6年生

103

名

（欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示）